

第5回宜野湾市地域公共交通推進協議会 議事概要

日 時：令和5年9月5日（火）14時00分

場 所：P's SQUARE 5階 D会議室

1. 宜野湾市地域公共交通計画骨子(案)について

宜野湾市地域公共交通計画骨子(案)について協議を行い、事務局案を精査した上で素案の検討を進めていくことで承認頂いた。議事概要は以下のとおり。

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
1	<p>✓ バスおよびタクシーの運転手不足について、現在の県内バス4社のバス運転手の年齢構成は、70歳以上が2%、60代が35%、50代が35%、20代が2%であり、60歳以上が37%と非常に高い状況である。バス運転手不足については、バス事業者のみの対策では非常に課題解決が厳しいということを宜野湾市や近隣市町村に理解いただき支援をお願いしたい。</p>	<p>✓ のバスの運転手不足については、事務局でも問題であると認識しており地域公共交通計画(骨子案)を検討するにあたって念頭に置いている。宜野湾市としては、既存路線バスの利用促進を図ることで運行支援につながるものと考えており、地域公共交通計画策定の際には、運転手不足の現状を踏まえた上で計画を検討する。</p>
2	<p>✓ 県道34号線の渋滞について、大謝名交差点付近では、慢性的な渋滞(が発生しているが、基幹急行バスの所要時間の変化をみると、バス専用レーン設置後においては、設置前と比較し5~6分程度の短縮効果がみられる。そこで、今回の施策案にはないが、渋滞対策のため県道34号線にバス専用レーンの設置を検討して欲しい。 (小川委員)</p>	<p>✓ 県道34号線の交通渋滞緩和は沖縄県が取り組んでいるため、宜野湾市としては連携できる部分は協力したいと考えている。</p> <p>✓ バス専用レーンの延長(県道宜野湾北中城線)についても、沖縄県で基幹バスシステムの導入とあわせて検討がされていると認識しており、沖縄県と連携して取り組む予定である。</p>

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
3	<p>✓ 第一交通が「マイルート」というプラットフォームを利用し、観光中心のMaasを導入している。「マイルート」を観光だけではなく公共交通に活用して欲しい。あわせて、バス運賃のキャッシュレス化について、今後は重要になると認識している。沖縄県の交通系 IC カード (OKICA) の普及拡大の推進のために、宜野湾市役所などの公共施設にチャージ機の設置ができないか検討して欲しい。</p> <p>(小川委員)</p>	<p>✓ シームレスな交通環境については、これから重要になると事務局でも認識しており関係部署と意見交換を行いたい。</p>
4	<p>✓ 県道 34 号線の渋滞対策については、大謝名交差点において右折 2 車線・直進 1 車線・左折 2 車線の車線構成に交差点改良を行い、渋滞緩和を図る予定である。</p> <p>また、バス停の上屋整備やベンチ等の設置検討について、実施主体は道路管理者との記載となっているが、道路管理者以外においても上屋やベンチの設置は可能であるため、バス事業者や市町村においても設置を検討することはできないか。</p> <p>(高嶺委員)</p>	<p>✓ 資料 4 の宜野湾市地域公共交通計画施策概要 (案) の 2 頁目のバス停の上屋等の設置では、実施主体を「道路管理者」と記載しているが、道路管理者以外でも設置は可能であると認識しているため、記載内容については今後検討し整理する。</p>

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
5	<p>✓ 高校生のバスの利用が少ないとあるが、宜野湾市内において公共交通の利用が少ない 2 校から話を聞いたところ、遠距離からの通学者が多いとのことであった。本年度からは沖縄県が主体で、一部生徒に対して通学費用の補助が始まることから、路線バス利用者の増加が見込めないかと考えている。</p> <p>あわせて豊見城市ではバスの乗り方教室なども開催している。</p> <p>高齢者や障がい者にも路線バスを積極的に利用して頂きたいと考えており、広報活動などを通じてバスの利用普及に協力をお願いしたいと考えている。</p> <p>(小川委員)</p>	
5	<p>✓ 各種シェアリングサービスについての記載があるが、「ライドシェア」について、今後、事務局で議論する予定はあるのか。</p> <p>✓ また、周辺市町村との交通サービス等の連携検討について、本協議会では宜野湾市のみの議論となると思われることから、周辺市町村との連携についても話し合うことが難しいと感じている。そこで、浦添市などの周辺市町村とあわせて「合同交通推進協議会」のようなものを開催することができないか。</p> <p>(佐藤委員)</p>	<p>✓ ライドシェアについては、国においてもこれから議論が行われるものと認識している。なお、骨子案において支援しているシェアリングサービスについては、電動キックボードやカーシェアリングを想定している。</p> <p>✓ 本計画の策定にあたり、周辺市町村との交通サービス等の連携検討を行うため、北谷町、浦添市、北中城村、中城村、西原町の担当者と意見交換を実施している。関係市町村による協議会などを開催することは難しいが、今後も情報交換などを進めて取り組む予定である</p>

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
6	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 沖縄県では、北部広域市町村圏や中部広域市町村圏などの広域と公共交通利用の課題を共有し対策について議論を行っている。 ✓ 県としては、市町村を跨ぐ広域公共交通の移動に関して、市町村は各々の市町村内においての区域内公共交通について対応している。 ✓ 市町村民の日常的な活動は、市町村を越えて行われるため、隣接市町村とコミュニケーションを図り対応することで、広域的、かつ、細やかな対応や支援が可能と考えている。 ✓ 宜野湾市以外の各市町村の会議や、多くの協議会へ参加をしていることから、宜野湾市の取り組みについて紹介し提案していきたい。 (代理出席：比嘉委員) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 幹事会について、宜野湾市地域公共交通計画策定後も継続するのか。 ✓ 宜野湾市内の世帯毎の自動車登録台数や、駐車場マス数などの調査が実施することはできないか。 ✓ シェアサイクルのデータについて、市町村間ODデータは市町村間データを共有できないか。また、沖縄観光コンベンションビューローで整理を行っており、今後活用してほしい。 (神谷委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 幹事会については、宜野湾市地域公共交通計画策定後も必要に応じて開催する予定である。今後の施策展開を行う上では、継続する必要があると必要と考えている。 ✓ シェアサイクルのデータについては、市町村間の移動のデータもあればと考えていたため、関係市町村との意見交換を行いたい。沖縄観光コンベンションビューローのオープンデータは確認する。

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
8	<p>✓ のりものNAVIはバス停ごとのダイヤを簡単に確認できるように改善して欲しい。GTFS ベースだとバス会社ごとに整理されていることから、非常に分かりづらいため各バス会社で連携し調整を行って欲しい。</p> <p>✓ 小中学校のモビリティマネジメントについては、授業に組み込めないかを検討して欲しい。また、今後は交通関係の部署が学校に入り、モビリティマネジメントを行うスタンスではなく、授業の一環として取り組むことができないか。</p> <p>✓ タクシーについては、沖縄県内ではタクシーアプリの利用が少なく、流し営業が多いと思われるが、高齢者の場合はアプリの活用が難しいため、高齢者向けの対応は必要と考えている。なお、高齢者向けの対応について、公民館行事が同じ曜日に実施されているため、分散することはできないか</p> <p>✓ 県内では市町村内の通勤通学の構成比が高いことから、通学を除外した通勤流動の構成比を確認してみたい。宜野湾市内における渋滞について、市民の通勤流動がどの程度の影響を与えているのか、圧倒的に他市町村からの通過交通が多いのか、市民の通勤時の交通手段において自家用車がどの程度を占めているのかといった点も含め、確認して頂きたい。 (神谷委員)</p>	<p>✓ モビリティマネジメントについては、教育委員会との連携が非常に重要だと考えており教育委員会への相談をはじめている。</p> <p>✓ 協議会のメンバーに教育委員会はいないが、幹事会では教育委員会の指導課がいるため意見を共有していきたい。ご提案のとおり、教育の観点から公共交通に資する授業が可能になればと考えている。</p> <p>✓ 公民館の行事については、宜野湾市ではミニデイサービスの公民館行事を毎週火曜日・水曜日に実施することが多く、その際の移動支援についても課題として認識している。今後も担当者と意見交換を行いたい。</p> <p>✓ 市民の通勤データに関しては、国勢調査のデータでどこまで確認可能か把握していないため、今後、沖縄県が実施するパーソントリップ調査等のデータ通じ、通勤の状況を把握できないかと考えている。</p>

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
9	<p>✓ 徒歩通学についてだが、宜野湾中学校は徒歩通学を推奨されている。県外では 2.8 km程度の徒歩通学は普通の距離だとの意見があったが、この 2.8 kmの距離は、琉大北口から宜野湾中学校までをイメージすると分かるが、坂や勾配が多く日差しも強いことから、県外の徒歩通学と単純に比較することは難しいと考えている。</p> <p>(佐藤委員)</p>	
10	<p>✓ 交通結節点について、地域拠点型と交通拠点型が示されているが、地域拠点型の交通施設の整備計画などがあれば教えて欲しい。伊佐地区でバスターミナル整備計画があると聞いており、地域拠点型を構想したバスターミナル整備計画があるのかなど、現状について教えて欲しい。</p> <p>(崎原委員)</p>	<p>✓ 交通結節点について、現時点では具体的な整備場所のイメージは検討していない。</p> <p>伊佐地区においては、今後返還予定のインダストリアル・コリドー地区において交通結節点の整備構想はあるが、返還時期も未だ確定しておらず、現段階では構想段階である。</p>
11	<p>✓ 交通結節点の整備について、西普天間地区に移転する琉大病院に交通結節点のような機能を持たせる予定があると聞いている。こうした予定の有無を含めて、宜野湾市としてのどのような将来の交通ネットワーク構築を想定しているか教えて欲しい。</p> <p>(代理出席：金城委員)</p>	<p>✓ 琉球大学医学部及び大学病院が西普天間住宅地区に移転することから、宜野湾市地域公共交通計画(骨子案)においても記載しており、路線バスなどの既存バスの乗入れも含めて検討を進めていると伺っている。また、琉球大学医学部及び同病院にバス路線やバス駐機場の整備も含め、琉球大学側で検討していると伺っている。これらの検討が進めば、琉球大学が交通結節点としての機能を発揮できるのではないかと考えている。</p>

2. 令和4年度決算及び監査報告について

令和4年度決算及び監査報告について審議を行い、承認頂いた。